



株式会社ロゼッタ

2017年2月期 業績説明資料
(2016年3月～2017年2月)

株式会社ロゼッタ (東証マザーズ：6182)



2017年4月14日



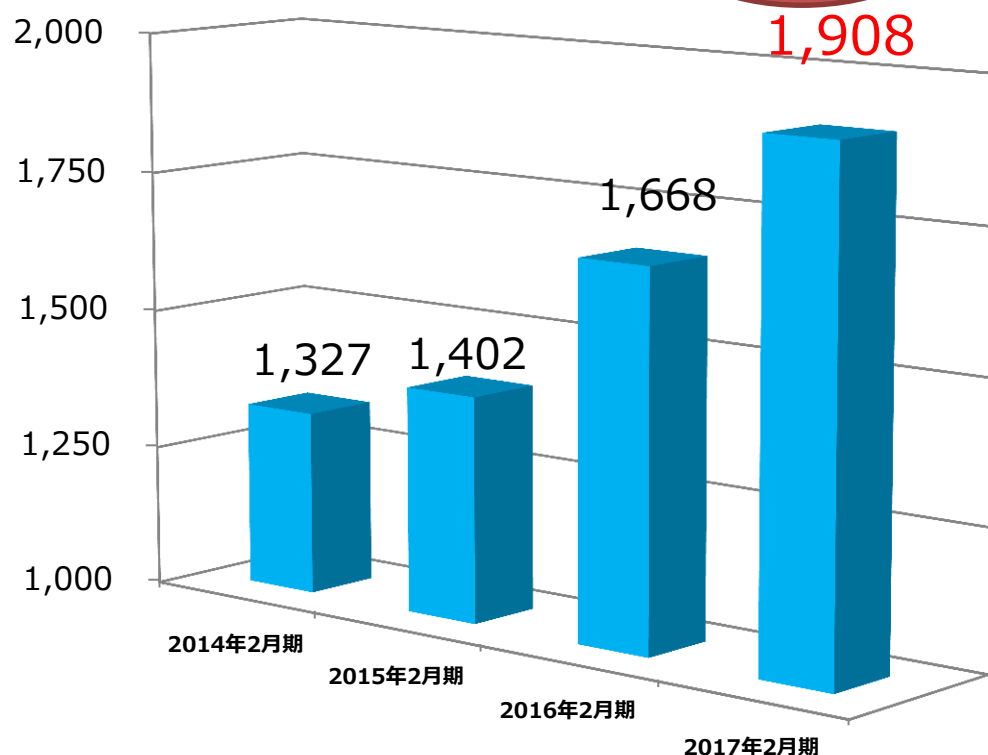
株式会社ロゼッタ

2017年2月期 連結業績

2017年2月期連結業績 売上高・経常利益

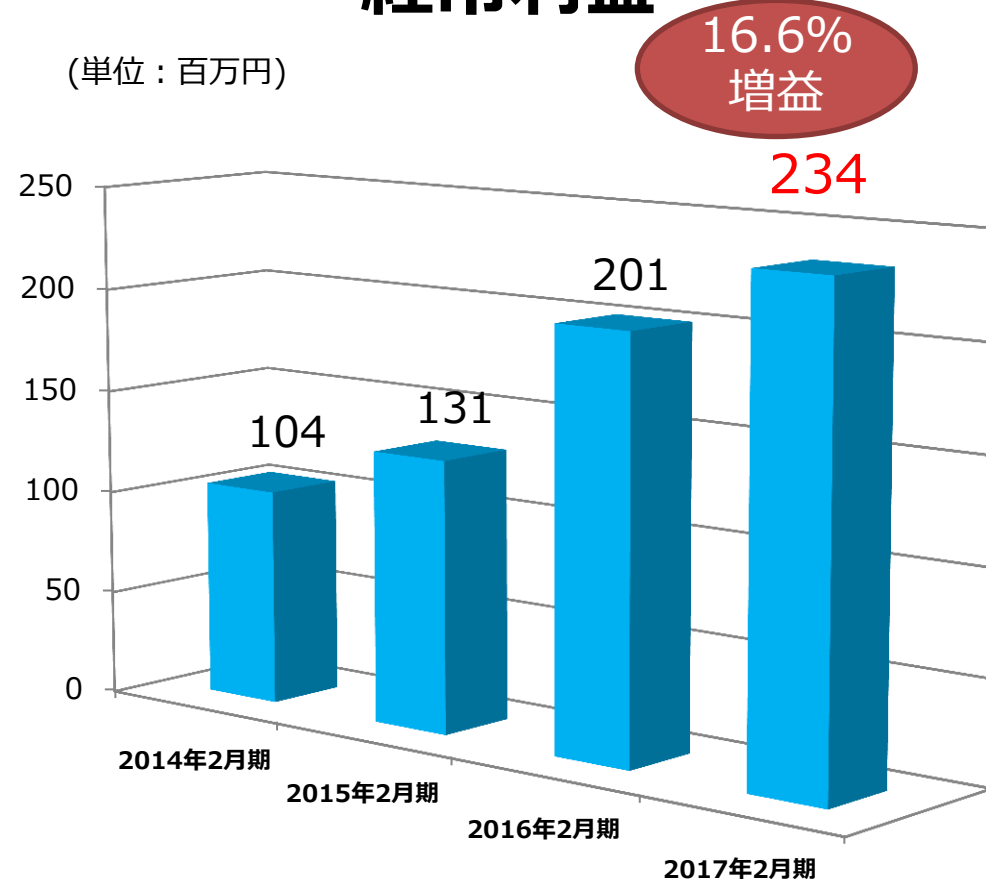
売上高

(単位：百万円)



経常利益

(単位：百万円)



① 2017年2月期は14.4%増収・16.6%増益（経常利益）

過去最高の業績を更新

② 新規事業の受注売上は

MT事業20.9%増、GLOZE事業11.6%増と順調に伸長

③ セグメント利益は

GLOZE事業3.4倍、翻訳・通訳事業1.5倍が大幅増益

④ NMT（Neural Machine Translation：ニューラルネット

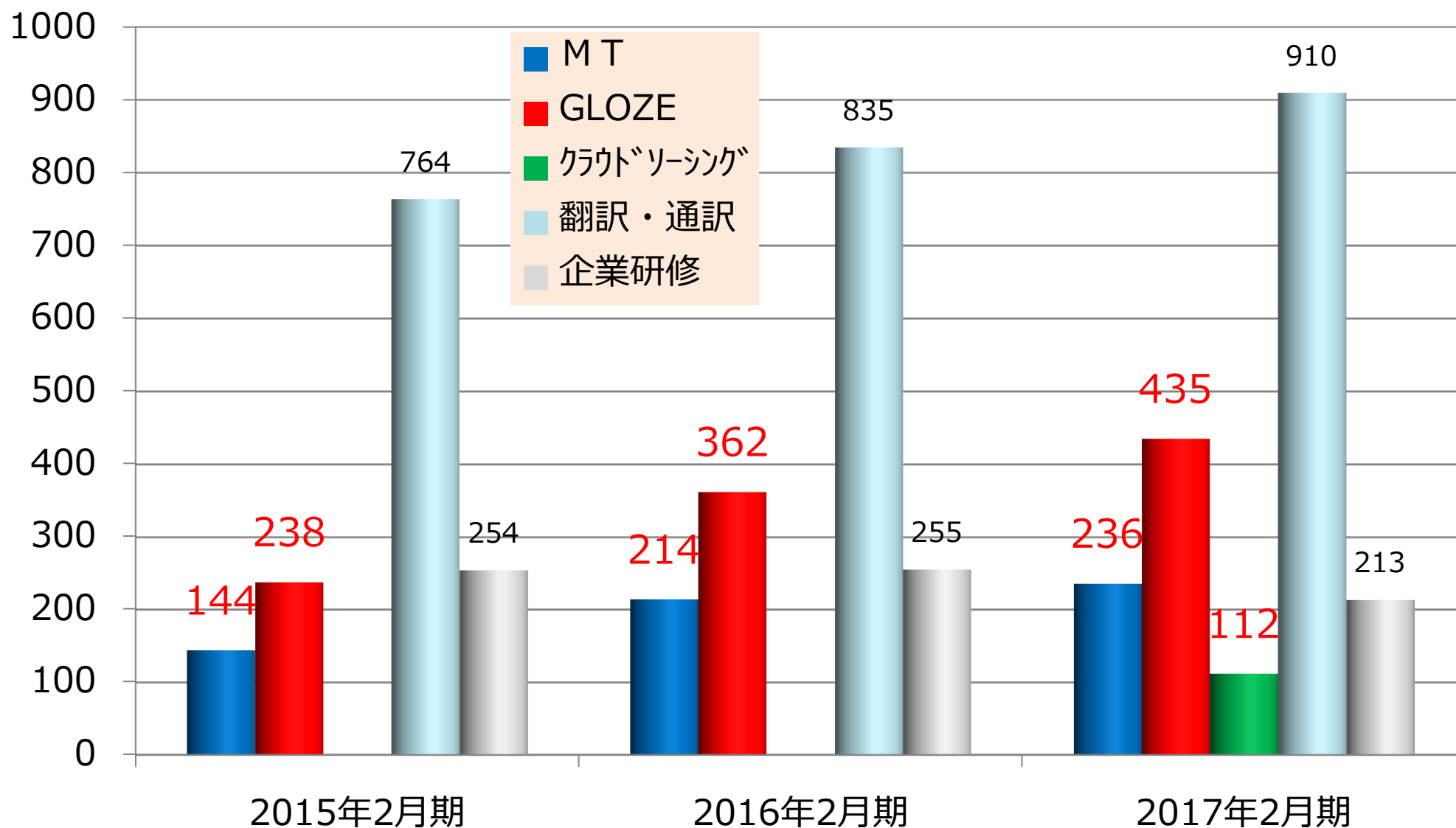
による機械翻訳）への開発先行投資を大幅に加速

2017年2月期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2016年2月期 通期	2017年2月期 通期	前年比	会社計画	計画比
売上高	1,668	1,908	114.4%	1,920	99.4%
売上原価	783	853	109.0%	873	97.8%
売上総利益	884	1,054	119.2%	1,047	100.7%
販売費及び一般管理費	668	828	123.9%	827	100.2%
営業利益	216	226	104.6%	220	102.8%
経常利益	201	234	116.6%	220	106.6%
当期純利益	141	169	119.7%	145	117.1%

セグメント別 売上高推移

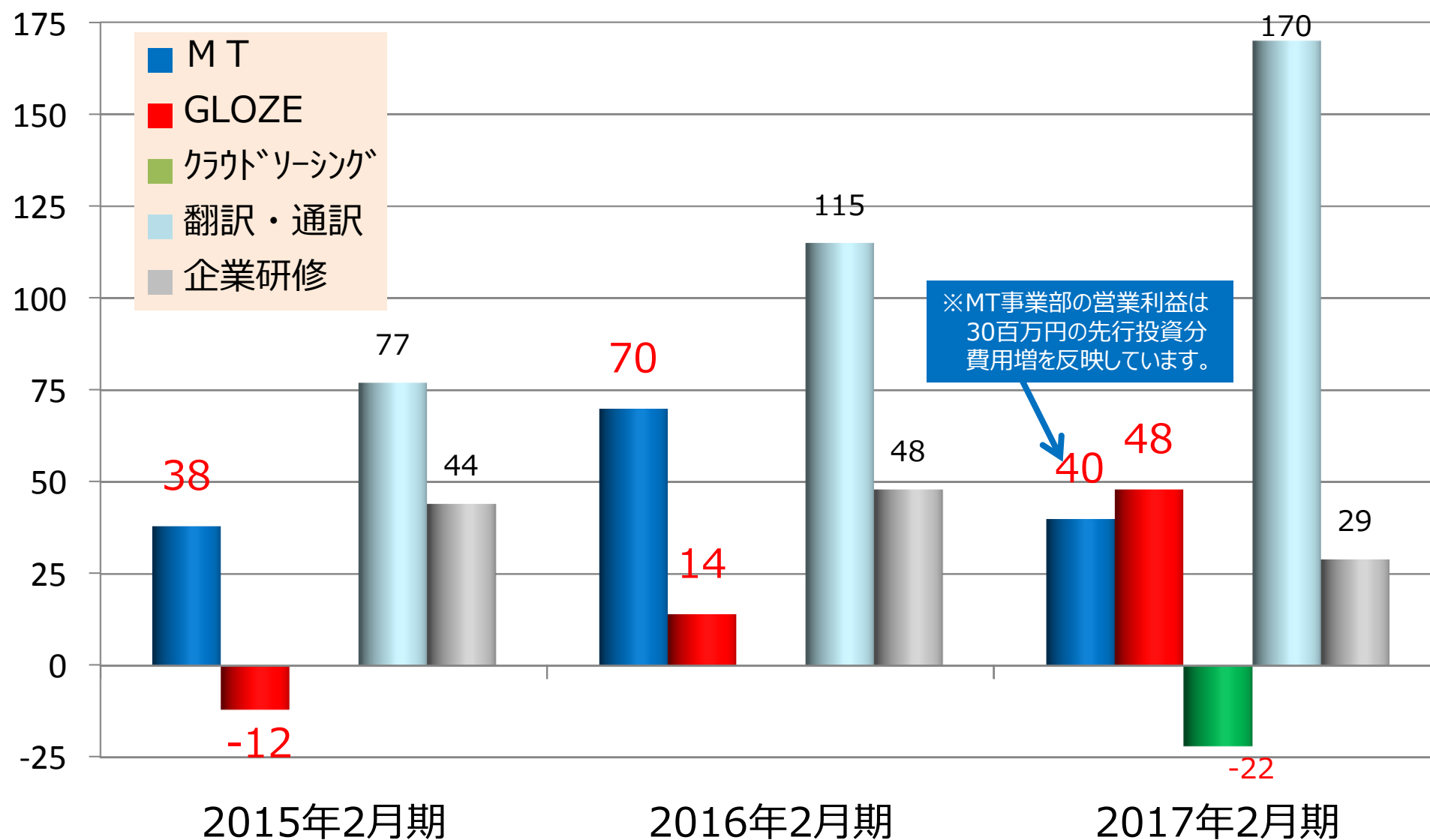


2017年2月期 セグメント別売上高

(単位：百万円)

		2016年2月期	2017年2月期	前年比	前年比
新規事業	M T 事業	214	236	110%	
	G L O Z E 事業	362	435	120%	136%
	クラウド ソーシング事業	—	112	—	
既存事業	翻訳・通訳事業	835	910	109%	103%
	企業研修事業	255	213	84%	
合 計		1,668	1,908	114%	114%

セグメント別 営業利益推移



2017年2月期 セグメント別営業利益

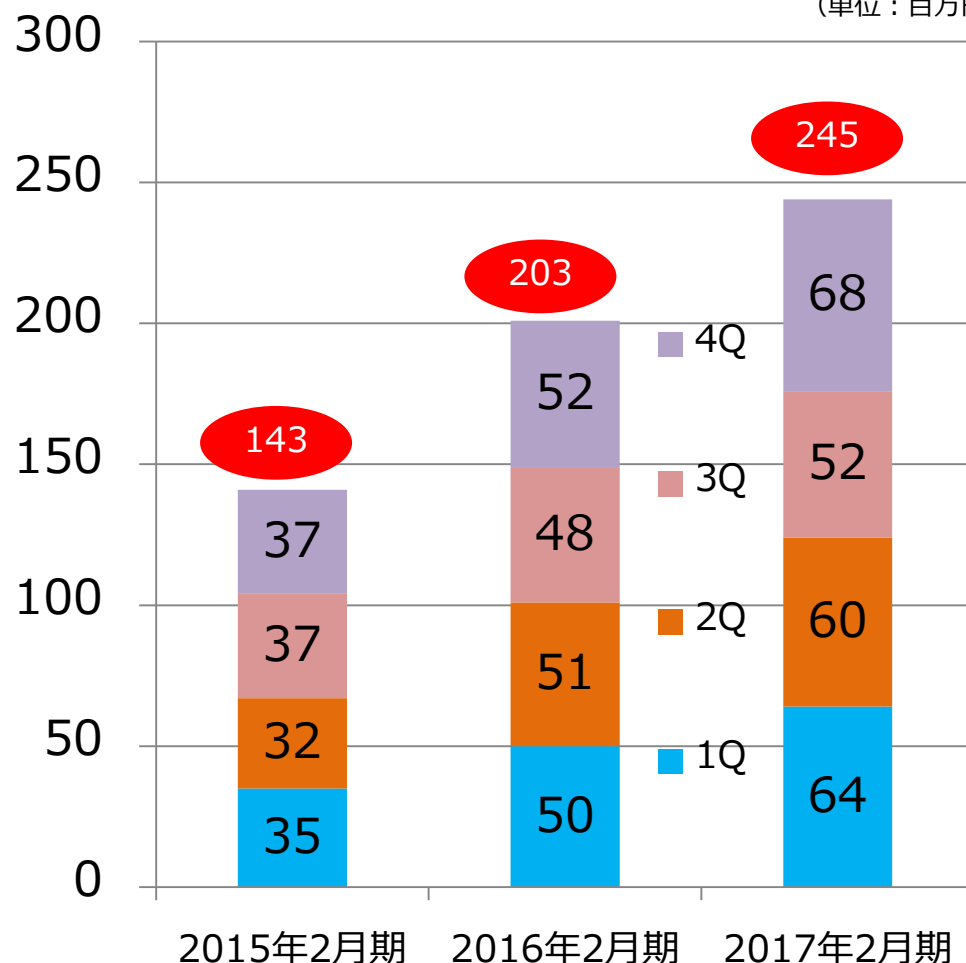
(単位：百万円)

		2016年2月期	2017年2月期	前年比	前年比
新規事業	M T 事業	70	40	58%	
	G L O Z E 事業	14	48	342%	79%
	クラウド ソーシング事業	—	△22	—	
既存事業	翻訳・通訳事業	115	170	148%	122%
	企業研修事業	48	29	61%	
	調 整 額	△32	△41	—	—
	合 計	216	226	105%	105%

MT事業・GLOZE事業 受注高推移

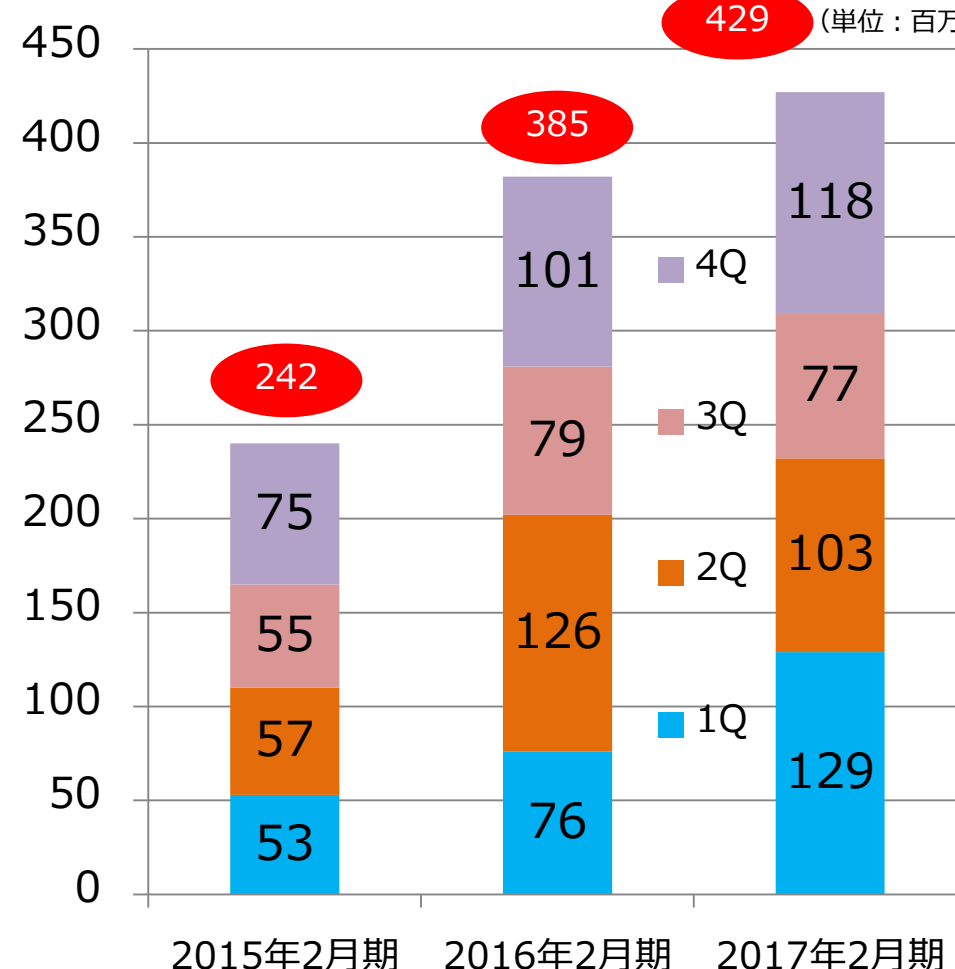
【MT事業】

(単位：百万円)



【GLOZE事業】

(単位：百万円)



- ・ 受注ベースでの売上推移（財務諸表上の売上ではない）。
- ・ 【自動翻訳】は、SaaS『熟考』シリーズの受注売上のうち、初期費用と年間利用料のみに限定。（リライト・DTP等のオプション売上、リソースデータ販売等の売上を除く）
- ・ 【自動翻訳】【GLOZE】ともに、外部への販売数値のみ（グループ内部取引による売上を除く）。



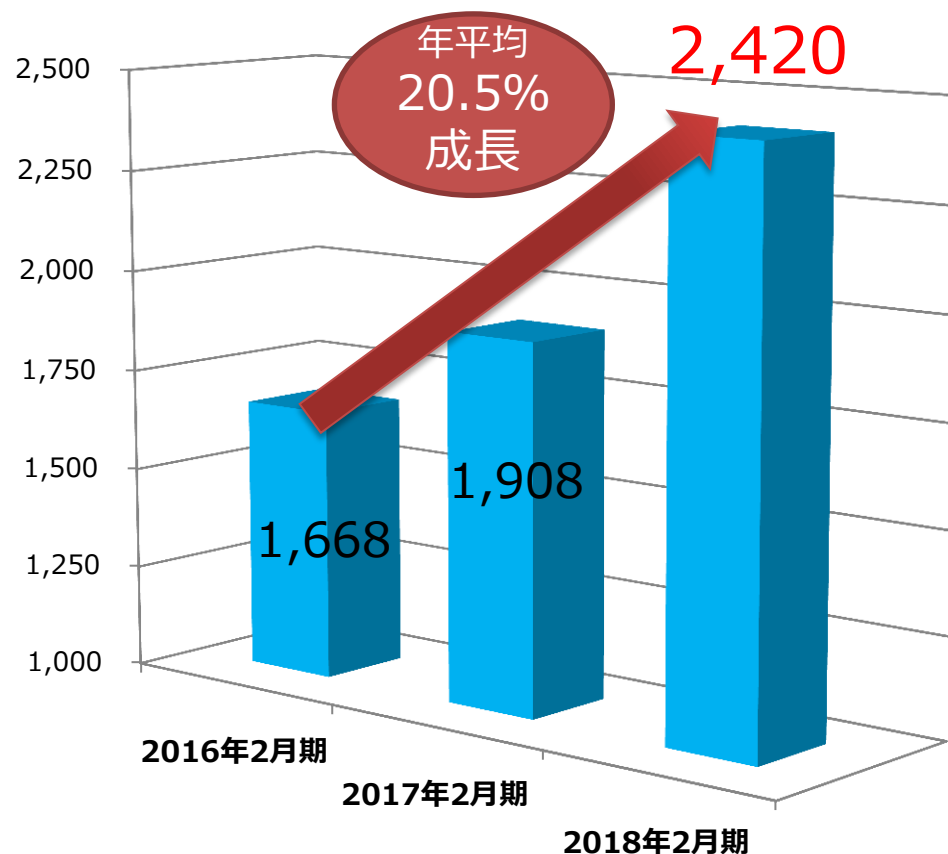
株式会社ロゼッタ

2018年2月期 業績予想

2018年2月期連結業績予想 売上高・経常利益

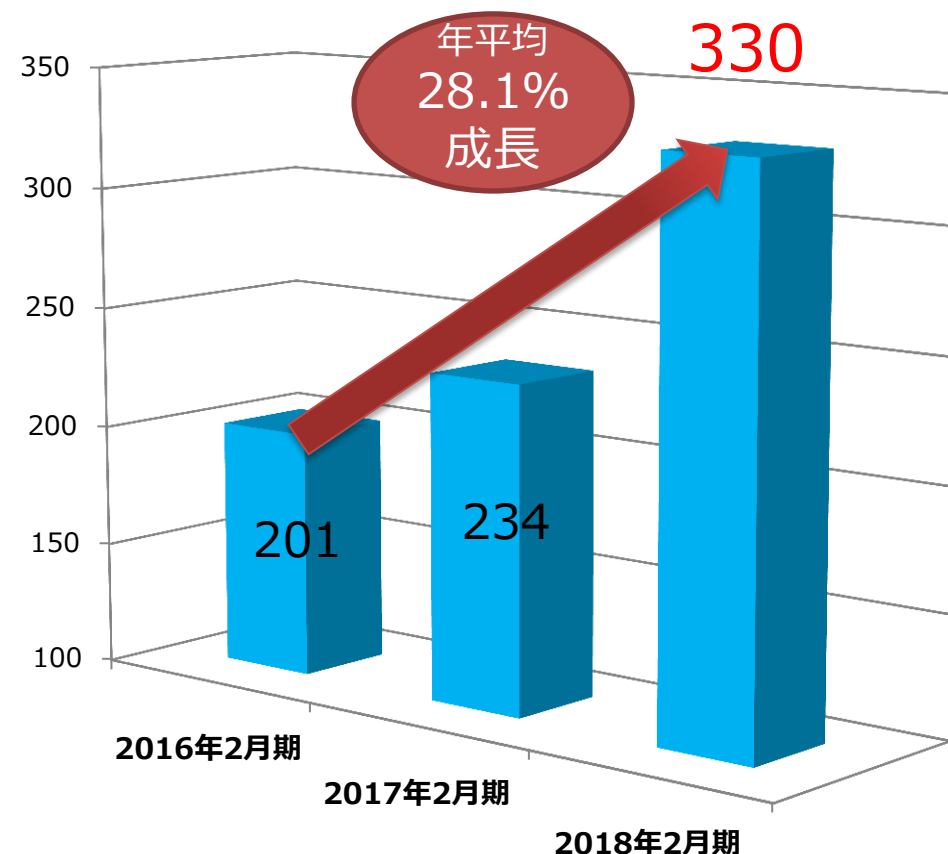
売上高

(単位：百万円)



経常利益

(単位：百万円)



2018年2月期 連結業績予想

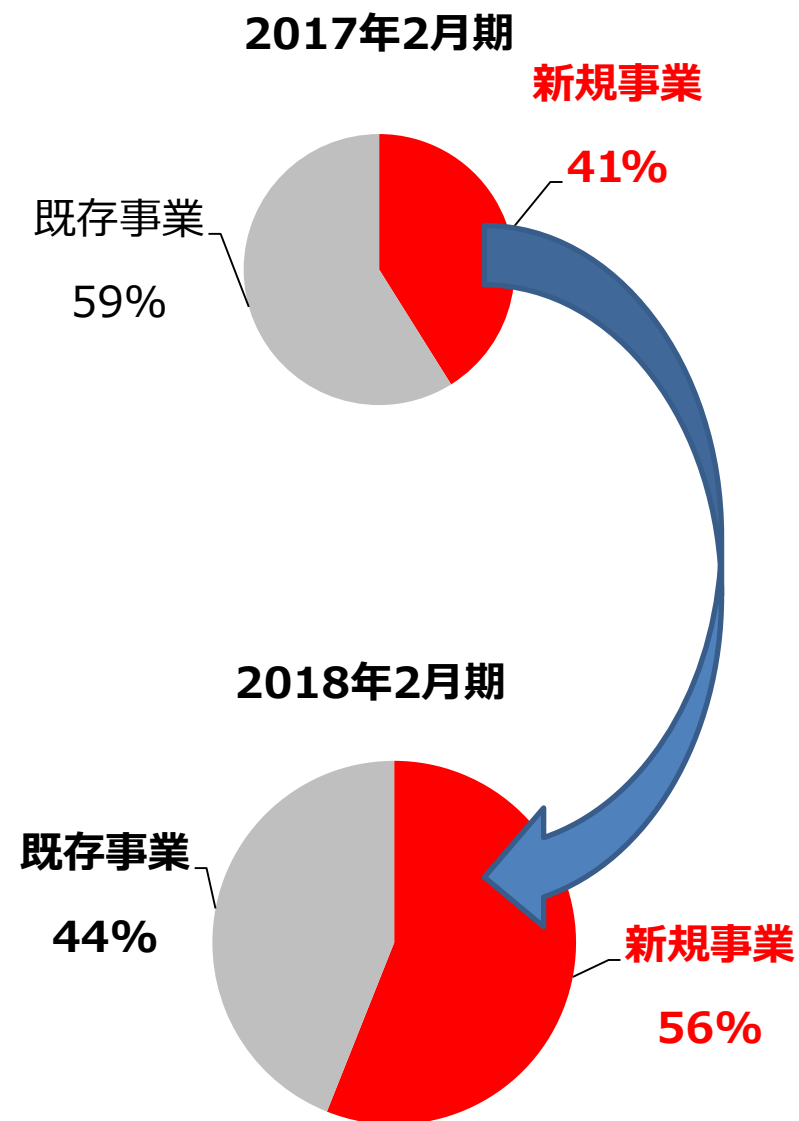
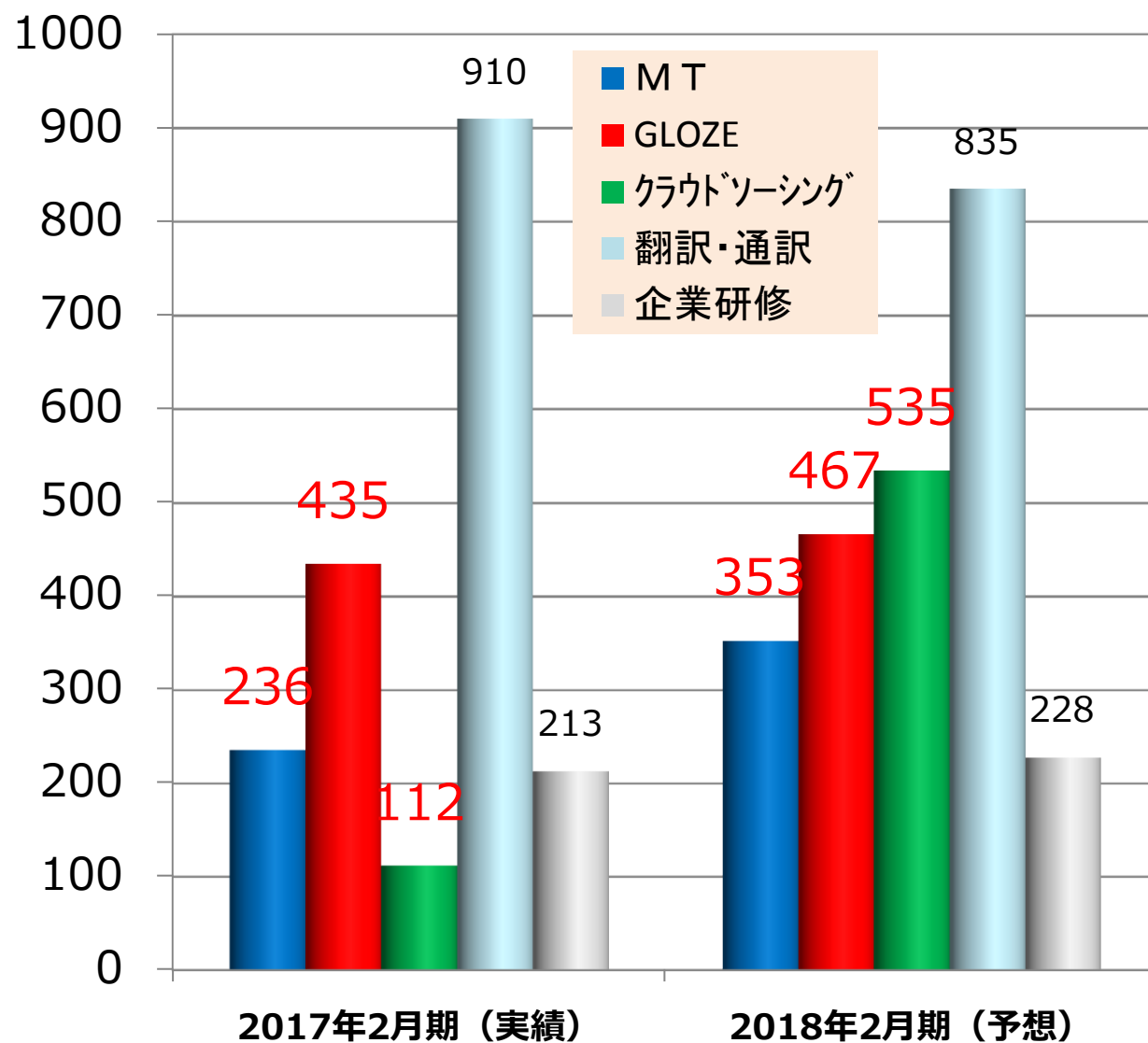
NMT（Neural Machine Translation）の開発先行投資として、投資資金で360百万円、費用増で25百万円を織り込み済み（2016年2月期に対し55百万円費用増となります）

(単位：百万円)

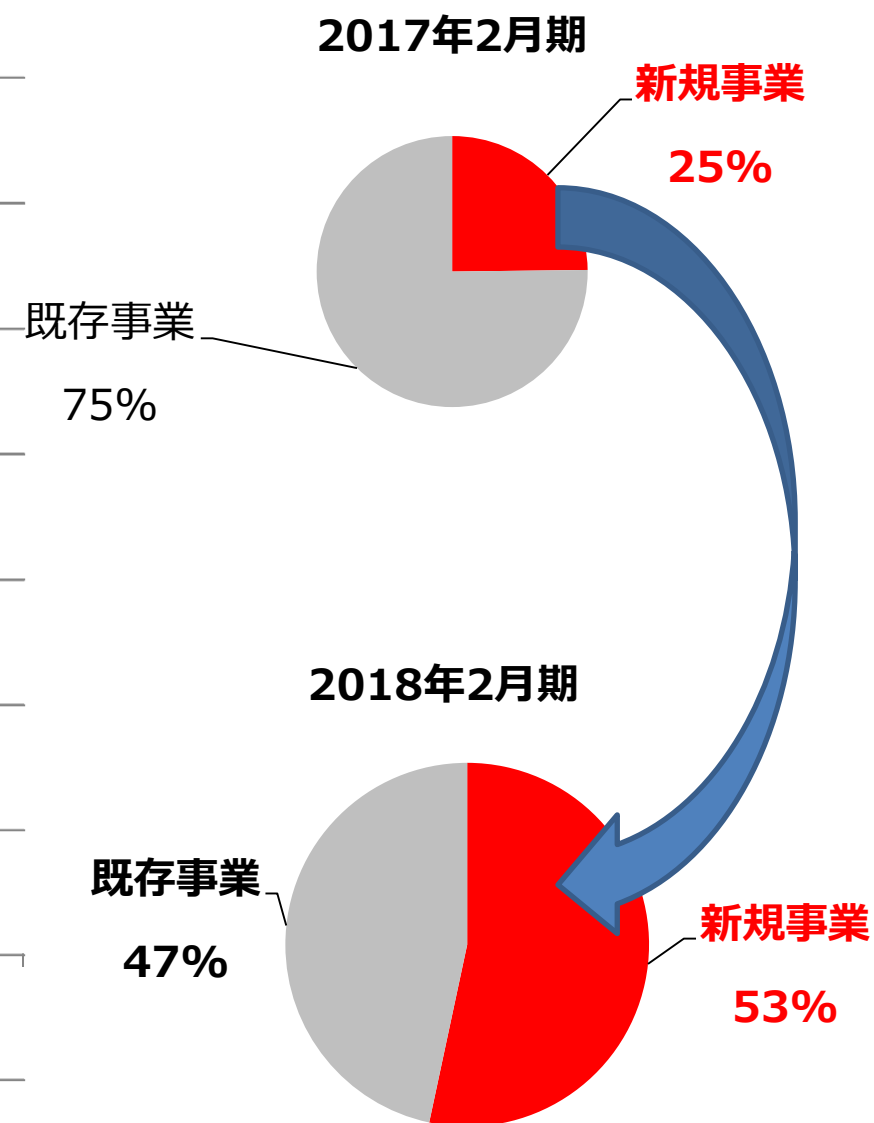
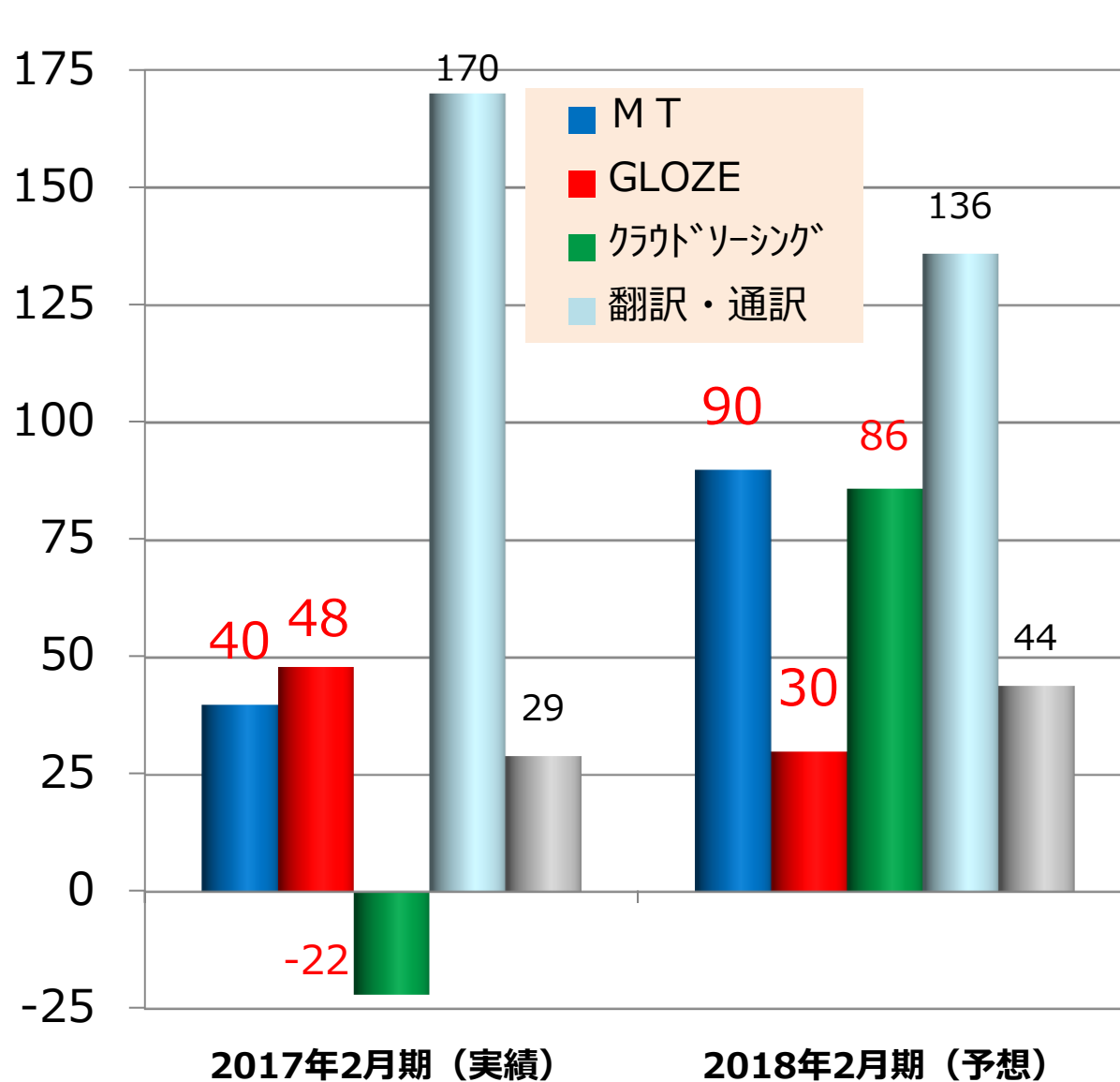
	2017年2月期 実績	対売上高 比率	2018年2月期 予想	対売上高 比率	前年比
売上高	1,908	100%	2,420	100%	127%
営業利益	226	11.8%	330	13.6%	146%
経常利益	234	12.3%	330	13.6%	141%
当期純利益	169	8.9%	200	8.3%	118%

※2018年2月期の期末配当は1株当たり@4.5円→@5円に増配する予定です。

セグメント別 売上高（業績予想）



セグメント別 営業利益（業績予想）





株式会社ロゼッタ

中長期ビジョン



将来、自動翻訳の時代が来るまで徐々に機械化が進み
「労働集約型」から「テクノロジー集約型」へ
「零細乱立の村状態」⇒「寡占が起こる高度な産業化」

翻訳 3 事業の中期推移（イメージ）



*出所：(株)矢野経済研究所「語学ビジネス市場に関する調査結果2015」による通訳・翻訳ビジネス市場の売上高推定

【前提条件】

- ・NMT (Neural Machine Translation) の開発先行投資を織り込み済み
2018年2月期: 3.6億円、2019年2月期: 4.3億円、2020年2月期: 5.4億円
- ・既存事業は成り行きベースで試算
- ・業務提携およびM & A等は考慮せず

(単位: 百万円)

	2017年2月期 実績	2018年2月期 計画	2019年2月期 計画	2020年2月期 計画	2017年2月期 対比
売上高	1,908	2,420	2,984	3,676	1.9倍
営業利益	226	330	540	901	4.0倍
経常利益	234	330	511	900	3.8倍
当期純利益	169	200	315	585	3.5倍

これまでとこれから

2015年

分野別

専門用語に強い！
考える自動翻訳機 **熟考**

熟考2015

2015種類の専門分野別に細分化

2017年1月

顧客別

御社専用の自動翻訳 AI
T-400
Translation for Onsha Only

T-400

(Translation for Onsha Only)

顧客企業別のテイラーメイド自動翻訳システム

2017年-2018年

ニューラル

大幅な精度向上となるNMTを各種分野へ適用
(Neural Machine Translation)

専門分野ごとに対応 訳文精度 60-70% ⇒ 80-90%

2022年



T-4PO (完成形)

(Translation for Private Only)

訳文精度95%

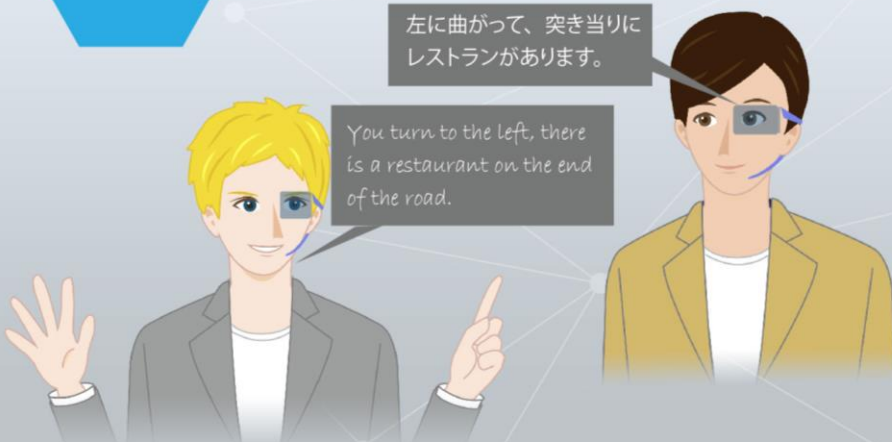
画像/音声認識AR

ウェアラブル端末内蔵型

画像認識



音声認識



T-4PO

完成形イメージ



自動翻訳



株式会社ロゼッタ

ご留意事項

- 本資料は、株式会社ロゼッタの業界動向及び事業内容について、株式会社ロゼッタによる現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 株式会社ロゼッタの実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来展望に関する表明は、2017年4月14日現在において利用可能な情報に基づいて株式会社ロゼッタによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

本資料のお問合せ先
株式会社ロゼッタ
社長室 酒井・春山

お電話でのお問合せ：03-6685-9570

FAXでのお問合せ：03-6685-0672

メールでのお問合せ：ir@rozetta.jp